

雪の有効活用について考える

NPO法人かねやま電雪が公開学習会

現在町内で雪むろ活用に挑戦中のNPO法人かねやま電雪が利雪について考えようと5月18日、公開学習会「利雪の経験と苦勞」を中央公民館で開催しました。講師の横山孝男山形大学名誉教授は、県内外の利雪の事例や課題などを解説。かねやま電雪の小沼正和代表は「昨年雪むろが完成し、活用が始まっている。太陽光発電とともにエコなエネルギーを発信していきたい」と話していました。



▲出席した約20名が雪の有効活用について考えた

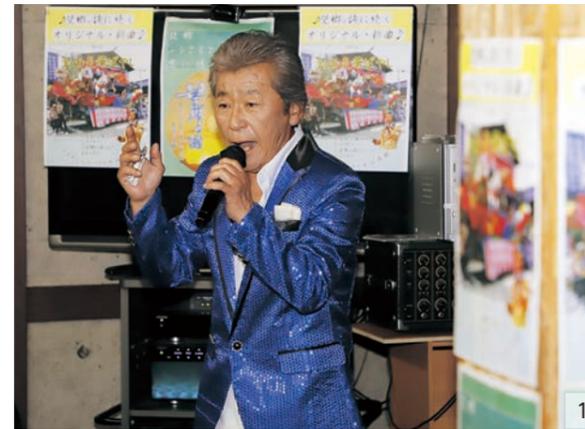
▼12区として新庄市役所前をスタートする星川選手（最左）



伝統の山形県縦断駅伝

町出身の3選手が出場！

4月27日～29日の3日間、第64回山形県縦断駅伝競走大会が開催され、新庄・最上チームの選手として、町出身の3選手が出場しました。1区・12区は星川優河さん（安沢）、19区・29区は須賀暁さん（山崎）、6区は今井達弥さん（七日町）がそれぞれ力走。チームは総合11位と悔しさの残る結果でしたが、各選手の快走に沿道の駅伝ファンから大きな声援が送られていました。



1_新曲のほか持ち歌を披露した永山さん 2_町内3か所でCDを配布中 3_約30名のお客さんからは大きな拍手が送られた

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

永山茂樹さんが新曲を発表

「ふるさと金山炎華ばやし」

永山茂樹さん（稲沢）が新曲「ふるさと金山炎華ばやし」を自主制作し、5月10日に発表会を開催しました。「この曲を聞いて、都会で暮らす人に故郷を思い出してほしい」と永山さんは話し、関係者へ感謝の気持ちを述べていました。多くの方を知ってもらいたいと、収録したCDは中央公民館・金山郵便局・ホットハウスカムロにおいて無料配布。「歌は一生！」をモットーに、たくさんのイベントで歌い続けていくとのことです。

一人ひとりが輝ける金山中体育祭

「黎明」をテーマに新時代も躍動

好天に恵まれた5月18日、金山中学校体育祭が開催されました。令和最初となる体育祭のテーマは黎明。実行委員長の古澤佑季さん（3年）は「新しい時代の幕開けとともに、この体育祭がよりよい金山中へ変わるきっかけとなるよう願いを込めた」とテーマに込めた意味をかみしめるようにあいさつされました。

競技されたのは100m競争や伝統のフォークダンス、大きな盛り上がりを見せるむかでリレーなど15種目。生徒たちはその全てにおいて、相手そして自分自身に本気で挑み、そのひたむきな姿に会場は感動に包まれていました。

接戦の末、優勝を勝ち取ったのは紅組。「勝負だから勝ち負けはついたが、これを機にさらに団結力が上がったのではないと思う。今後のよりよい学校生活に生かしていこう」生徒会長の須藤耀斗さん（3年）は閉祭式でこう話し、全員の頑張りたたえていました。鈴木英樹校長は「応援合戦で相手の組にエールを送る姿やむかでリレーで最後のチームがゴールするまでみんなで声援を送る姿に感動した」と嬉しそうに講評を述べました。体育祭を通してひと回り成長した金山中生。ますますの活躍を期待します。

